

令和7年度 事後評価シート

【事務事業シート】

当初

7 年 度	事 業 概 要	事 項	被爆者対策費						予算主管課	健康増進課	
		概 要	原爆被爆者に対する各種手当の支給等、保健・医療・福祉各方面での総合的な援護対策を実施する。						始期	1968	
	終期										
	K P I	被爆者数手当の支給率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%
		コ ス ト	最終現計 予算額	218788 千円	最終現計 予算額	206542 千円	最終現計 予算額	201639 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額		206079 千円	決算額	193109 千円	決算額	185471 千円	決算額	千円		
					繰越額	千円	繰越額	千円			
					不用額	16168 千円	不用額	千円			
要因分析	要因										
	総括										
見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は、概ね想定どおりとなっており、8年度以降も被爆者の高齢化に対応した保健、医療、福祉にわたる総合的な支援の継続が必要であり、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

当初	事 項	原爆死没者慰霊等助成事業費								予算主管課		健康増進課	
	事 業 概 要	被爆体験を後代に継承し、永遠の平和を祈念することを目的に、原爆死没者慰霊等事業（5年ごとに実施）に要する費用の一部を助成する。								始期		2025	
										終期			
	K P I	要望に対する補助率											
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	%	目標値	%	目標値	100 %	目標値	%		
		実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	100 %	実績値	%		
		ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%		
	コ ス ト			最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	2895 千円	最終現計 予算額	千円		
				決算額	千円	決算額	千円	決算額	2895 千円	決算額	千円		
								繰越額	千円	繰越額	千円		
								不用額	千円	不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	5年に1度実施している事業。7年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、次回開催時の執行方法や予算の見直しは想定していない。										

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

3	当初	事 項	生活習慣病予防総合支援事業費						予算主管課	健康増進課
		事 業 概 要	市町が行う健康教育や健康相談、健康診査等に要する経費の一部を補助するとともに、生活習慣病対策の検討を行う。						始期	1982
	7 年 度	K P I	市町の実施するがん検診の受診率（国保40～74歳の5がん平均受診率）							
			KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度	
				R 4 年 度	目標値	16 %	目標値	17 %	目標値	18 %
			実績値	%	実績値	16.14 %	実績値	17.78 %	実績値	17.14 %
			ストック /フロー	フロー	達成率	100.9 %	達成率	104.6 %	達成率	95.2 %
		コ ス ト	最終現計 予算額		101681 千円	最終現計 予算額	98320 千円	最終現計 予算額	104719 千円	最終現計 予算額
			決算額		77610 千円	決算額	77805 千円	決算額	80798 千円	決算額
								繰越額	千円	繰越額
								不用額	23921 千円	不用額
7 年 度	要因分析		要因 前年度から0.64ポイント減少しており、松山市と新居浜市が検診の無償化を取りやめたことによる影響が大きいと考えている。なお、両市を除いた18市町の平均受診率は増加している。 総括							
	見直し方向性	維持	検診の無償化を取りやめた松山市と新居浜市を除いた18市町の平均受診率は増加しており、両市においても今後一層の受診勧奨に取り組んでいくと聞いている。受診率の動向を注視しつつ、7年度に実施した市町との意見交換会を踏まえ、受診率向上に効果のあった取組みの横展開を図るなど、更なる支援の強化に努めることとしており、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

4	当初	事 項	精神保健事業費						予算主管課	健康増進課
		事 業 概 要	在宅精神患者等への支援や、精神保健に関する普及啓発を実施することで、精神保健福祉法の円滑運用・適正実施を図る。						始期	1965
	7 年 度	K P I	精神保健福祉法に係る不適切な事務処理件数							
			KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度	
				R 4 年 度	目標値	0 件	目標値	0 件	目標値	0 件
			実績値	件	実績値	0 件	実績値	0 件	実績値	0 件
			ストック /フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	100 %
		コ ス ト	最終現計 予算額		5098 千円	最終現計 予算額	11955 千円	最終現計 予算額	13051 千円	最終現計 予算額
			決算額		4615 千円	決算額	8293 千円	決算額	9816 千円	決算額
								繰越額	千円	繰越額
								不用額	3235 千円	不用額
7 年 度	要因分析		要因 総括							
	見直し方向性	維持	近年は精神保健福祉法の円滑な運用及び適正な実施により目標を達成できている。8年度以降も同法に基づく精神障がい者等の支援及び普及啓発は必要であることから、8年度予算の執行方法や、9年度予算の見直しは想定していない。							

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

5

当初

事 項		デジタルヘルスケア環境普及促進事業費						予算主管課		健康増進課						
事 業 概 要		市町や保険者、企業など多様な主体と連携・協力して、楽しく継続的に健康づくりに取り組むことができるスマートフォン健康アプリの普及を図り、県民の健康づくりに関する行動変容を促す。						始期		2024						
								終期		2026						
K P I		アプリを活用して健康のための行動を増やした人の数														
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度					
		R 4 年 度		目標値	人		目標値	2000 人		目標値	6000 人		目標値	10000 人		
		実績値	人		実績値	人		実績値	3269 人		実績値	5715 人		実績値	人	
		ストック /フロー	ストック		達成率	%		達成率	163.5 %		達成率	95.3 %		達成率	%	
		コ ス ト		最終現計 予算額	千円		最終現計 予算額	75733 千円		最終現計 予算額	86324 千円		最終現計 予算額	千円		
決算額	千円			決算額	62579 千円		決算額	72869 千円		決算額	千円					
						繰越額	千円		繰越額	千円						
						不用額	13455 千円		不用額	千円						

7 年 度	要因分析		要因 年度の平均としているため未達成となったが、年度の後半（10月以降）で見ると毎月目標値を達成している。登録者数とキャンペーンの実施に相関していると考えられるので、引き続き登録者数の増加と効果的なキャンペーンの実施に力を注いでいきたい。										
			総括										
	見直し方向性		維持		イベントやキャンペーン実施時については、一時的に目標値を越えていることから、令和8年度は広報活動を継続的に実施しながら、県民が飽きずに参加できるように健康イベントやキャンペーンの実施時期の見直しを行い、進捗状況を確認しながら進めることとする。								

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

6

当初

事 項	県民健康づくり運動推進事業費										予算主管課	健康増進課
事 業 概 要	本県が抱える健康課題の予防に向けた周知啓発を行うとともに、地域・職域において、 健診・医療・介護のビッグデータ分析結果を活用した取組みを推進する。										始期	2013
											終期	
K P I	健康づくり啓発事業に参加し、健康づくりに対する意欲が高まったとする参加者数											
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		R 4 年 度		目標値	284 人	目標値	428 人	目標値	572 人	目標値	716 人	
	実績値	140 人		実績値	488 人	実績値	998 人	実績値	1490 人	実績値	人	
	ストック /フロー	ストック		達成率	171.8 %	達成率	233.2 %	達成率	260.5 %	達成率	%	
	コ ス ト	最終現計 予算額	5604 千円		最終現計 予算額	11432 千円		最終現計 予算額	10625 千円		最終現計 予算額	千円
		決算額	4504 千円		決算額	9084 千円		決算額	8891 千円		決算額	千円
						繰越額	千円		繰越額	千円		
						不用額	1734 千円		不用額	千円		
7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を超える成果が出ていることから、8年度以降も引き続き体験型の事業等を実施することとし、市町や協会けんぽと連携・協力して県民の健康づくりに対する意識啓発に努めることとする。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

7

当初

事 項	歯と口腔の健康づくり推進費							予算主管課		健康増進課			
事 業 概 要	乳幼児期から高齢期までのライフステージ等を通じて、歯と口腔の健康づくりに継続的に取り組むとともに、全身の健康づくりとの関連を踏まえた施策を実施する。							始期		1978			
								終期					
K P I	よい歯の表彰コンクールの参加者数												
	KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
	R 4 年 度		目標値	160 人		目標値	210 人		目標値	212 人			
	実績値	人		実績値	208 人		実績値	325 人		実績値	329 人		
	ストック /フロー	フロー		達成率	130 %		達成率	154.8 %		達成率	155.2 %		
	コ ス ト			最終現計 予算額	11837 千円		最終現計 予算額	12640 千円		最終現計 予算額	10541 千円		
決算額				7118 千円		決算額	8087 千円		決算額	7297 千円			
					繰越額	千円							
								不用額	3244 千円		不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因										
		総括										
	見直し方向性	維持	7年度のKPIの実績は目標を上回る成果が出ており、8年度以降も引き続き普及啓発等に取り組むこととしていることから、8年度の執行方法や9年度予算の見直しは想定していない。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

8

当初

7 年 度	事 業 概 要	がん対策強化推進費						予算主管課	健康増進課		
		県がん対策推進条例の趣旨を踏まえ策定した県がん対策推進計画を総合的に推進するため、がん診療連携拠点病院等へ機能強化に要する経費を補助するとともに、総合的ながん対策に取り組む。						始期	2007		
								終期			
	K P I	がん診療連携拠点病院及び町なかサロンの相談件数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度		目標値	23455 件	目標値	24355 件	目標値	25255 件	目標値	26155 件
		実績値	22555 件	実績値	21459 件	実績値	21218 件	実績値	20827 件	実績値	件
		ストック /フロー	フロー	達成率	91.49 %	達成率	87.1 %	達成率	82.5 %	達成率	%
		コ ス ト	最終現計 予算額	98914 千円	最終現計 予算額	99961 千円	最終現計 予算額	108580 千円	最終現計 予算額	千円	
	決算額		95723 千円	決算額	95331 千円	決算額	106008 千円	決算額	千円		
						繰越額	千円	繰越額	千円		
	要因分析	要因 令和7年度の相談件数は、前年度と比較して、がん診療連携拠点病院7病院のうち3病院で増加し、4病院で減少した。特に相談件数の多い四国がんセンターで大きく減少したため（8,547件→7,894件）、前年度を下回った。									
総括											
見直し方向性	維持	これまで目標を達成できていない状況であり、拠点病院等とより一層緊密に連携し、相談支援窓口の更なる周知に努めることで、KPIの向上につなげていく。									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。

9

当初

事 項	がん等で長期療養中の高校生を対象とした遠隔教育支援事業費							予算主管課	健康増進課	
事 業 概 要	がん等で長期療養中の高校生の学習環境向上を図るため、ICTを活用した遠隔授業支援機器を貸し出し、希望する学生が病室等から授業に参加できる環境を整備する。							始期	2025	
								終期	2025	
K P I	テレプレゼンスロボットの整備台数									
	KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		R 4 年 度	目標値	台	目標値	台	目標値	5 台	目標値	台
	実績値	台	実績値	台	実績値	台	実績値	5 台	実績値	台
	ストック /フロー	ストック	達成率	%	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%
	コ ス ト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	3037 千円	最終現計 予算額	千円
			決算額	千円	決算額	千円	決算額	2416 千円	決算額	千円
			繰越額	千円	繰越額	千円				
						不用額	621 千円	不用額	千円	

7 年 度	要因分析	要因								
		総括 予定していた機器の整備が完了し、事業の所期の目的を達成できた。今後は、一人でも多くの希望する方に機器を貸し出すことができるよう、本事業の更なる周知に取り組んでいく。								
	見直し方向性									

※令和6年度までの予算・決算額は流用額及び前年度からの繰越額を含みません。